

令和6年10月27日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙

鳥取県第2区選挙公報

鳥取県選挙管理委員会



比例代表も 自民党へ

赤沢りょうせい略歴

昭和35年12月18日生
昭和59年3月 東京大学法学部卒業
昭和59年4月 運輸省(現国土交通省)入省
平成3年 米国コーネル大学経営学修士(MBA)取得
平成16年7月 日本郵政公社郵便事業総本部国際本部海外事業部長(物流戦略担当)
平成17年9月 第44回衆議院議員総選挙に鳥取2区から立候補、初当選
平成21年8月 第45回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(2期目)
平成24年12月 第46回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(3期目)
国土交通大臣政務官に就任
平成25年10月 自民党国土交通部長に就任
平成26年9月 内閣府副大臣に就任
平成26年12月 第47回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(4期目)
平成26年12月 内閣府副大臣に再任
平成28年1月 衆議院環境委員長に就任
平成29年10月 第48回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(5期目)
令和2年9月 3度目の内閣府副大臣に就任(新型コロナ、経済財政・成長戦略、防災・国土強靱化、領土問題など担当)
令和3年10月 第49回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(6期目)
令和6年10月 経済再生担当大臣に就任



赤沢りょうせい ホームページ
<https://www.ryosei-akazawa.com>

地元の社会地盤整備の取り組み

- 米子駅南北一体化
- 米子道全線4車線化
- 山陰道北条バイパス事業
- 米子安倍三柳線一部開通
- 江府三次道路事業
- 境夢みなとターミナル整備事業
- 境港高度衛生管理型漁港・市場整備
- 法勝寺川青木地区や日野川上細見地区などの河川改修
- 農業・農村整備(土地改良)や森林整備の推進 など

- ◆鳥取県からの地方創生
- ◆令和新時代の強靱な民主主義
- ◆政治改革・政治資金のルールの合理化
- ◆働けば暮らして行ける国づくり・働けない人もしっかり支える国づくり
- ◆強くてやさしい国づくり(社会保障の充実強化など)
- ◆夢があり配慮があふれる国づくり
- ◆日本経済再生のためのものづくり・システムづくり・国づくり(インフラ・基盤整備)

日本の鳥取県のための3つの本気!

本気の人手不足対策と賃上げ
今でも深刻な人手不足が今後さらに急加速!
人手不足に負けない経済効率化・生産性向上と賃上げに全力!
賃上げ・人手不足緩和の好循環の実現を目指します。

本気の防災省と事前防災
事前防災の徹底のための防災省の創設に全力!
防災DX、防災技術の研究開発、社会実装を加速し事態対処のさらなる高度化を実現します。

本気の女性活躍と女性参画
最大の国力発揮のために女性活躍と女性参画に全力!
あらゆる政策や事業の意思決定、計画、実施、評価などにおいて女性の参画を促進するとともに女性の視点を踏まえることを目指します。



経済再生担当大臣・自民党公認
赤沢りょうせい
あかさわ

17年間 街頭に立ち、訴え続けてきました。 政治は、政治家や大企業、お金持ちのためではなく、 国民の暮らしを守るためにあります。

- 企業団体献金および政治資金パーティーを禁止します。
- 物価高で困窮する方や事業者への支援を最大限します。
- 東京一極集中から地方を大切に国づくりへ変えます。
- 所得格差の連鎖・固定化を止め、子どもの貧困を解消します。
- 中小零細企業が負担する社会保険料等を軽減し、中小零細企業を応援します。
- 農家の戸別所得補償制度を復活し、農家と農村を守ります。
- 小中学校の給食費無償、給付型奨学金制度など、教育の無償化を図ります。
- 基礎年金は減らさず、老後の不安を解消します。
- 自然エネルギーを最大限導入し、原発に頼らない社会を目指します。

自民党の政治と湯原俊二の目指す政治の違い

自民党	湯原俊二
●昔と違い、政治でお金持ちをよりお金持ちにしている	●政治を、劣勢にある地域や人々のためにしている
●大都市、大企業を優先の政治	●地方や中山間地域、中小零細企業、農林水産業を大切に
●東京一極集中の政治	●財源や権限を地域に移し、地域でまちづくりを決定する
●目先の利益、経済を優先する政治	●国民の暮らしを守り、生活不安や老後の不安を取り除く
●女性蔑視の発言など人権をないがしろにしている人がいる	●子育て・教育、雇用、年金・医療・介護を優先する政治
●家族観など画一的な価値観を重視している	●希望する人は非正規雇用を正社員にする
●日本学術会議では考えの違う者を排除した	●人権を尊重し、多様性を認め、共生する政治
●財政、環境、社会保障など今さえ良ければいいという姿勢	●熟慮し少数派の意見も取り入れる政治
●政治を私物化している	●財政、環境、社会保障など持続可能性を追求する
●政権の都合のいいように公文書を改ざん、隠ぺい、廃棄する	●次世代に対して責任を負う政治
●国民の疑念、疑問に説明責任を果たさない	●公平公正な政治をする
●憲法解釈変更、安保法制で、自衛隊の海外展開が可能に	●公文書の管理の徹底
	●国民に説明責任を果たす。国民にとって透明性高い政治にする
	●専守防衛で近隣諸国と国際協調を図る外交にする
	●憲法9条は守る



立憲民主党公認
湯原俊二
ゆはら しゅんじ

比例代表は立憲民主党へ

Youtube: 本会議場の話を観てください。(1分50秒)

LINE: [QR Code]

Facebook: [QR Code]

X: [QR Code]

Instagram: [QR Code]

湯原俊二の経歴

- 1962年(昭和37年) 専業農家に生まれる
- 米子東高校、早稲田大学卒業
- 28歳で米子市議会議員に
- 32歳で鳥取県議会議員に、以後4期当選
- 2009年 衆議院議員に、2021年 再選し2期目
- 立憲民主党本部常任幹事
- 立憲民主党国会対策副委員長

日本共産党 とお書きください。

比例代表は

- 子ども医療費、給食を無料に。先生増員で子どもに寄り添った教育に。
- 食料自給率50%に。価格保障と所得補償で続けられる農業に。
- 学費は無償へ、ただちに半額。奨学金の返済は半額免除。
- 子どもの医療費、給食を無料に。先生増員で子どもに寄り添った教育に。
- 食料自給率50%に。価格保障と所得補償で続けられる農業に。

人間の自由、平和を追求する日本共産党

日本共産党は戦争反対「自由と民主主義を一貫して求めてきました。また、共産主義の目的である「人間の自由を保障する未来社会をめざします。日本共産党の1票は、平和、くらし、民主主義各人の自由を実現する1票です。」

裏金政治を大そうじ

- 裏金事件の真相究明。
- 裏金の原資は企業団体献金の禁止。政党助成金制度の廃止。
- 政治助成金制度の廃止。
- 政治を私物化している
- 政権の都合のいいように公文書を改ざん、隠ぺい、廃棄する
- 国民の疑念、疑問に説明責任を果たさない
- 憲法解釈変更、安保法制で、自衛隊の海外展開が可能に

経済再生

- 能登の復旧、災害救援優先。
- 中小企業への支援とセーフティ、全国一律、最賃1500円。
- 賃上げ一体で労働時間短縮。国の責任でケアワーカー大幅賃上げ。
- 消費税ゼロをめざし、直ちに5%に。大企業、大資産家に応分の負担を求める。
- 物価高に見合った年金引き上げ。介護・医療の負担、保険料軽減。
- マイナ保険証強制をやめ、紙の保険証を残す。
- 学費は無償へ、ただちに半額。奨学金の返済は半額免除。
- 子どもの医療費、給食を無料に。先生増員で子どもに寄り添った教育に。
- 食料自給率50%に。価格保障と所得補償で続けられる農業に。

原発ゼロ

- 「核兵器禁止条約」の批准。
- 原発ゼロ。島根原発再稼働中止。
- 石炭火力は撤退。再生エネルギー活用と省エネでCO2を6割削減。
- 脱炭素と結びついた農林業を支援。

ジェンダー平等

- 生涯1億円の男女賃金格差を是正
- 選択的夫婦別姓制度をただちに実現。

自民党政治を大本から変える

大軍拡ノー!

- 9条生かした平和外交を
- アメリカ言いなりの大軍拡・ミサイルなど他国攻撃の軍備ノー!
- 軍事ではなく、対話による外交で、平和なアジアを実現。

気候危機打開

原発ゼロ

ジェンダー平等

私の誕生日は12月8日、太平洋戦争開戦日です。戦争反対は子どもの頃から強い思いです。戦争のないアジアと日本をめざします。

総選挙では、金権、ウソ偽りの政治でいいのが問われています。

戦争反対と国民が主人公の政治を訴えてきた日本共産党と私へのご支持をお願いします。

●米子市在住48才・千葉大学工学部卒・しんぶん赤旗記者、党西部地区委員長を歴任●現在、日本共産党常任委員●家族は妻、子3人



ひでゆき
福住
日本共産党

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 10月27日(日)

(投票時間は、午前7時から午後8時までの投票所と、これと異なる投票時間の投票所がありますので、お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

期日前投票 10月16日(水)～10月26日(土)

(期日前投票ができる日時は、期日前投票所によって異なりますので、お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

投票日に投票が難しい方は、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

投票所入場券をお忘れなく!

- 無くしたり、お忘れの場合でも、そのことを投票所の受付に申し出ていただければ、本人確認後、投票できます。
- 18歳未満のお子様を連れて投票所に入ることができます！
お子様の将来のために投票について見学するよい機会です。ご家族そろって投票所に行きましょう。

※お子様が投票用紙に記載したり、投票箱に投票用紙を入れたりすることはできませんのでご注意ください。

